

医療レーザー脱毛 治療説明書・同意書

医療レーザー脱毛は、毛のメラニンにレーザーが反応することで毛根周囲に熱変性を起こし、毛を生えにくくします。毛周期ごとに1ヶ月半から2ヶ月毎の治療を繰り返し、平均で5回～7回。お若い年齢や部位によっては8回以上かかることもあります。また患者さまによる照射前後のお肌のケアが大変重要になります。

《照射前の注意》

- 1) 日焼けした肌では熱傷などの副作用が強くなる可能性があります。日常から日焼け止めを使用して下さい。(足や手などを治療する場合も同様です、長袖・ズボンなどで遮光してください)
- 2) 照射部位にはボディークリームや日焼け止め、制汗剤など、何も付けていない状態でお受けください。付いている場合は施術前にお拭き取りいただきますのでご申告ください。顔に照射する場合はお化粧を落としてください。
- 3) 施術前3週間は毛抜きなどの自己処理をせずにご来院ください。毛が無い状態では効果は望めません。
- 4) 生理中は衛生面の観点から、臀部まわりの照射を避けさせていただきます。
- 5) 施術の3日前～前日までに、施術部位を剃毛してお越してください。ジェントルレーズは前日、ラフィーユは3日前が最適です。カミソリ負けなどの肌荒れがある場合は照射ができないことがありますので気を付けてお剃りください。剃り残しがある場合はこちらで剃毛させていただくこともございますが、規定の時間内に施術が難しい場合はその部位の照射を避けさせていただきますことをご了承ください。
こちらで剃毛する場合、1カ所につき1,080円～2,160円の剃毛代を別途頂戴いたします。
- 6) 施術に使用するオイル、水性ペンの色などがお身体に残ることがございます。施術当日は大切な洋服・お下着の着用はお控えくださいますようお願いいたします。

《照射中の注意》

- 1) 照射中は骨ばっている箇所(肘、膝、手首、足首、鎖骨、肋骨、手足の指、甲など)、色素沈着のある箇所(膝裏、鼠蹊部、臀部下など)、毛の濃い部分に強い痛みを感じることがあります。
痛みを感じましたら遠慮せずにお申し付けください。施術者の指示に従い動かないようお願いいたします。
- 2) タオルなどで目の保護をします。外さないように、また直接レーザーを見ないようにしてください。

《照射後の経過と注意・予想される副作用》

- 1) 毛穴に赤み、膨らみがでることがあります。初回時に軟膏を処方しますので、症状が出た場合は**必ず**薬をご使用ください。2回目以降は必要に応じてご購入いただきます。(1本¥150-)
一過性の症状ですので心配はありませんが、1週間以上続いたり、痒みがでる場合はご来院ください。搔き毟ったりすると、色素沈着になる可能性がありますのでお気を付けください。
- 2) 毛囊炎(ニキビのようなもの)を発症する場合があります。多数出現して痒みが強い場合はご来院ください。
- 3) 2～3日後より照射した部位に発赤、膨疹、色素沈着、色素脱失が起きることがあります。ほとんどが一過性のもので長くて半年程度で改善していきませんが、対処していくためご来院ください。また、稀に熱傷などの副作用が起こることもございます。この場合も早目にご来院ください。
- 4) 乾燥する場合はお手持ちのものでかまいませんので保湿を心がけてください。
- 5) 極くまれに毛の硬毛化が起こることがあります。これは毛の本数は減少するものの、毛が濃くなる・硬くなる・太くなる・長くなるといった現象です。世界的にどの機械でも起こりうると言われていますが原因ははっきりしていません。主に顔面周囲・頸部から上腕・背中などの軟毛を処理しようとした場合に見られます。根気よく回数を重ねることで解決できますが、通常よりも施術回数が多くなることによって施術代金のご負担が増えることもございますので、あらかじめご了承ください。
- 6) 万一副作用が出て症状が改善されない場合は、当院で処置を行います。他の病院などにおかかりになった治療費などはお支払いすることはできません。また、施術代金や処置費用などのご返金も致しかねますのでご了承ください。

《期待される効果など》

脱毛については「永久減毛」となります。永久減毛とは、「一定の脱毛治療を行った後に再発毛する本数が長期間に渡って減少、即ち脱毛治療によって減毛された状態が長期間に渡って維持されること」とし、ほとんど自己処理をしないでいい状態になります。現在、医療ではこの「永久減毛」の定義が基本となっており、「永久脱毛」という言葉はふさわしくないという見解です。当院は医療現場として治療を行い、これに従っております。うぶ毛が1本もなく、まったくつるつるの状態にまですることではありません。